



第17回定時総会開催

小亀会長1年続投 副会長6人体制に

平成24年11月24日（土）午後2時より東村山駅西口ビル2 F サンパルネ・コンベンションホールで第17回東村山稲門会定時総会が開催された。総会は當摩彰子副会長の司会で開式となり、会長挨拶のあと規定により会長が議長となり、平成23年度活動報告が當間副会長・会計報告が南湖会計幹事・監査報告が戸田監事から行われ原案通り承認された。つづいて平成24年度活動計画・予算案について當間副会長および南湖幹事から説明があり原案通り承認された。

新役員体制については、三宅相談役から会長の任期は4年と規約で決められているのに現会長が引き続き会長を続けるのはおかしいではないかと疑義が出された。これに対し会長から、新たな後任会長を決めることが出来なかったので続投するが、規約の精神は大切にしなければならないので1年限りの続投とし、この1年の間に後任の会長を決めたい、そのため副会長を6人体制にし、新たな幹事にも5人の方に入ってもらったとの説明があり、その後会長選任方法等について議論のやりとりがあったが、最終的には原案通り承認され新たな副会長・幹事・会計監査の皆さんが紹介された。

つづいて早稲田大学副総長 内田勝一 国際学院教授から祝辞を頂き第一部の総会は終了した。

第2部の講演会では内田副総長から「早稲田 vision 150」についての講演が行われ20年後を見据えた学生・研究成果・校友の姿を示し世界へ貢献する大学であり続けるための考え方についての説明があった。

第3部は早稲田大学マンドリン楽部のコンサートが行われ、マンドリンの爽やかな音色に心を癒されました。

第4部の懇親パーティーは大内・滝川桜子両副会長の司会で進められ、会長挨拶のあと近隣稲門会を代表して平山正徳東久留米稲門会会長から、大学を代表して一橋地域担当副部長より、さらに東村山市長渡部尚氏から祝辞を頂いた。

また東村山三田会設立のため準備を進めている松田博氏からも祝辞を頂いた。ついで当稲門会元会長山下邦康氏の乾杯の音頭で開宴となった。懇親の輪が広がり和気藹藹の雰囲気の中で会が進められた。途中マンドリンの伴奏で「ふるさと」「見上げてごらん夜の星を」を全員で合唱した。最後に井垣さんの指揮で「東村山稲門会の歌」及び小森敏孝さんの指揮で校歌を高らかに歌い、當間副会長の閉会の挨拶ですべての行事が終了した。

「来賓」内田勝一早稲田大学副総長、一橋良弘早稲田大学地域担当副部長、渡部尚東村山市長、近隣稲門会の方々等22名 総会出席者会員71名 懇親会出席者会員79名

マンドリン楽部7名

懇親会出席者総数111名



新年会

新春をサンパルネで祝おう!!

第17期を迎えた我が東村山稲門会の恒例の行事である新年会は、今年も東村山駅西口の「サンパルネ・コンベンションホール」で開催されます。

会員の皆様、ご家族揃って是非ご参加ください。

記

日時 : 平成25年1月19日(土) 午後5時～午後7時30分
 場所 : サンパルネ・コンベンションホール
 (東村山駅西口 駅ビル2階 電話395-5115)
 会費 : 4,000円 (同伴者は2,000円)
 お楽しみの企画にご期待ください。

出欠の回答を、同封の葉書にて12月31日迄にお願いします。

(キャンセルの連絡は25年1月15日迄、それ以降は恐縮ですが実費を負担いただきます。)

連絡先 事務局長 當間昭治 電話 391-6023

会からのお知らせ

○ 平成25年1月 定例役員会

日時 平成25年1月12日(土) 14:00～16:00
 場所 ふるさと歴史館研修室

○ 第80回 雑学講座 (映画会)

日時 平成24年12月15日(土) 15:00～17:30
 場所 サンパルネ 2F コンベンションホール
 映画題目 「ビルマの豎琴」 原作:竹山道雄 監督:市川崑 主演:安井昌二

昨年の「二十四の瞳」に続き、雑学講座80回の節目を迎え、「ビルマの豎琴」を取上げます。1956年(昭和31年)の制作で、全編に叙情豊かなメロディの流れる中、戦争の残酷な舞台で、帰国を諦め、戦場に放置された日本兵の屍を供養する水島上等兵。胸を打つ感動的な作品です。

第80回を迎えた雑学講座、市民の皆様にも開放し好評を得ています。(入場無料)
 会員の皆様、是非お誘い合わせのうえ、サンパルネにお越しください。

(福田昇七 TEL 391-9726)

☆ 他稲門会関係

三多摩支部大会

2012年度校友会三多摩支部の年次総会が、本年度は多摩稲門会・稲城稲門会が幹事となり11月18日(日)京王プラザホテル多摩で開催された。

三多摩26市の稲門会から約200名が参加し、鎌田総長から WasedaVision150 についての説明があり福田校友会代表幹事から三多摩支部は稲門会の中核的存在であり今後とも大学・校友会に対し一層のご支援をお願いしたいとの挨拶があった。その後「東京稲門グリークラブ」の合唱並びに東京理科大学学長の藤嶋昭氏の講演が行われた。懇親会は和やかな雰囲気の中で各稲門会の交流が行われた。

当会から小亀、當間、福田、高鷲、岡田、土橋の6人が参加しました。

23区支部、三多摩支部合同会長懇談会

11月30日(金) 大隈記念タワー「西北の風」小亀会長出席

☆山下邦康元会長「賛助商議員」の称号を授与される

山下邦康元会長は10年間商議員を務められ、大学に対する多大な貢献をなされたことからこの度「賛助商議員」の称号を授与されました。当会では大西元会長につぎお二人目めの受賞となります。おめでとうございます。

11月・12月合同「お誕生会」報告

HAPPY
BIRTHDAY

担当幹事 滝川桜子

11月、12月生まれの方のお誕生会は、11月10日(土)午後5時から久米川駅南口徒歩1分のいつもの「割烹丸藤」で行われた。出席者は、お誕生者10名と、お誕生者をお祝いするために集まった方の合計27名だった。会は、11月のお誕生者の小亀会長にかわり、當間昭治副会長による挨拶、その後岡田副会長の祝福の乾杯からはじまった。

お誕生出席者のうち7名は、昨年もお出席くださった江藤昌明さん、井手 巖さん、藤澤博恭さん(80代)、小亀輝雄さん、益田 昂さん(70代)、一色泰久さん、當摩彰子さん(60代)で、今のご自分のこと、今感じておいでの気持ちを話した。お誕生者としての出席回数が増えるたびにお話しから、ご経験を通したその人となりのいろいろな味わい深いお話を聞くことができたりして、後輩の参加者にとっては、自分のこれからを見つめるミニ講演会に参加しているような気持ちにもなったりもする。

他の3人は、新入会員の坂本英夫さん、小森敏孝さん、中村幸宏さんだった。坂本さんは、14年生まれで、家庭裁判所で9月まで調停委員をされ、現在は参与員として家庭問題の相談のお仕事に携わっておいでのこと、他のお2人は、現役で小森さんは私立学校の先生で、長年中学校の野球部長として活躍されていたが、後継者が現れた現在は、旅行同好会の活動に携わっておいでのこと。学生時代は、応援団に属していたということで、さすがひととき大きなお声で話した。中村さんは、スバルでお仕事をされ、バンコクや北京の海外稲門会参加のご経験もあるとのことだった、娘さんが2人おいでになり今年19歳の長女の方は、早稲田大学に入学されたが、お二人に加え、さらに待望の男の子が生まれて現在2歳になられたばかりとのことだったが、余裕をもって楽しみながら子育てをなされておいでの様子が話された。

井手さんが、歌詞プリントを用意してくださり、ハーモニカ伴奏でアニーローリー、高校3年生、知床旅情の全員の合唱リードや 無縁坂、ブルーシャドウの美しい音色のハーモニカ演奏を聞かせてくださった。その後、赤荻さんによる記念撮影、そしてふたたび井手さんの伴奏で、東村山稲門会の歌と、小森さんのリードで校歌を高らかに合唱してにぎやかで、いろいろな交流も生まれた楽しかった会は、閉会した。

今回も當摩彰子副会長からさわやかでフルーティな清酒2本提供された。

同好会だより

当会会員の方は、いずれの同好会にも自由に参加できます。

音楽同好会 (稲穂会)

世話人 市川 彰彦 TEL 308-8181



10月の半ば、朝夕涼しくなりました。音楽同好会の代表になってくださいと諸先輩から背中を押され、自分自身 心もとないながら引き受けました。前任者の高橋さんのようにできるかわかりませんが、音楽好きだから楽しくやっていきたいと思えます。

さてこの拙文が読まれる頃は、音楽同好会の例会(10月28日)は終わっております。ですから28日の例会に向けて、どんな音楽をみなさんと楽しく時間が持てるかと考えたかを話します。そこで大先輩にはわざわざ拙宅にお越しいただき猛練習を重ねました。二日 5時間近く悔いないのよう みっちり練習はしました。当日が待たれます。

選ばれた曲は先ず東村山稲門会の歌、秋の季節を感じられるように「野菊」「紅葉」「夕焼け小焼け」など童謡。故郷と頭につく曲「故郷の廃家」「故郷を離るる歌」「故郷の人々」など、井出さんはみなさんが知らない「毬藻の歌」やご存じ「北上夜曲」「明日がある」ほかハーモニカ。また「大きな古時計」「エーデルワイスの歌」15曲ほど用意しました。

今回は急遽、いつもウクレレを奏でていただいた富塚さんがピアノの伴奏をやっていただきました。2回の練習時に感じたのは富塚さんはピアノは独学だとおっしゃっていましたがどうしてこんなふうに演奏できるのか、感激しました。三人の年齢を足して3で割ると84歳ですが、全く年齢なんて関係なくみんな元気。つくづく音楽やっててよかった。

歌いたい曲のリクエストを求めます。来春に期待してください。

(本記事は11月10日発行のニュースに掲載するべきものでした。)

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



年末を間近に控えメンバーの方も色々お忙しく開催が危ぶまれましたが次の各氏が参加、思う存分歌い楽しい一夜を過ごしました。井垣、石塚、小森、南湖、内藤の方々でした。今年の秋は非常に短く体調に十分に気をつけ歌うことにより風邪など吹き飛ばしましょう。

さて恒例の年末忘年会を兼ねたカラオケ優勝大会が来月に迫りました今年は少し変更しまして行います。

採点は2曲：1曲は課題曲 北国の春、2曲目は自分の自由曲

合計の点数で勝敗を決めます。どうぞお楽しみに。

テニス同好会

世話人 田島 隆夫 TEL 396-7676



11月の例会は、11月4日（日） 11:00～13:00 久米川コート4番にて行われました。

天候は晴、合宿以来の顔合わせでしたが、10名の方が参加しました。さらに、今回は東大和稲門会の渡嶋さんが見学に来てくれました。

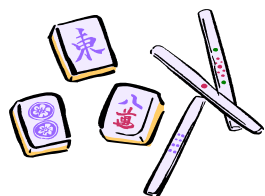
野田さんの指導の下に入念な準備体操を行い、その後、何時もの様にダブルスの試合を行いました。合宿の成果でしょうか、全般に熱戦が多かったように感じました。特に滝来、市川の女性チームは、気合も入っていて良いプレーを見せてくれました。

渡嶋さんも後半プレーに参加し、老練なところを見せてくれました。今後も交流を深めて行ければ良いと思っています。

見学者：東大和稲門会 渡嶋さん

参加者（敬称略）：市川（彰）同夫人 小菅 高橋（一）滝来（京）野田（直）同夫人
野村（茂）福田（昇）田島

麻雀同好会

世話人 小野 智 TEL 391-9523
松永 常尚 332-5621

先にお知らせの如く、第59回大会を下記要領に開催したく、ご案内致します。

記

日時 12月23日（日）

集合 12時30分

開催 13時（4回戦）但し全員集まり次第、始めます。

場所 麻雀サロン「園」 TEL 394-4444

東村山市本町2-1-15（東村山駅東口 徒歩2分）

会費 4,000円

懇親会 3,000円 大会終了後、忘年会を兼ねて希望者のみ「丸藤」にて盛大に行います。

締め切り 12月16日（日）

雀卓の都合上、早めにお申し込み下さい。

初めての方も賞金制故、是非お気軽にご参加下さい。

（松永記）

ウォーキングの会

世話人 高橋 正夫 TEL 309-3407
阿部 茂 332-0298

第33回ウォーキング記（11月25日）

雲ひとつない快晴に恵まれた秋の日曜日、九段下駅をスタートして、田安門から北の丸公園に入り、皇居東御苑の本丸跡、二の丸庭園の紅葉を愛でながら大手門を出て、新装なった東京駅舎を訪れました。そのあと皇居外苑に入り、二重橋・桜田門を通過して外堀の道を歩き、半蔵門・千鳥ヶ淵公園をたどって、1時近く、すっかり空腹を覚えて昼食。その後、中国政府に気遣いすることなく、全員靖国神社に参拝してから帰路につきました。

参加者：阿部・大内・高橋・土橋・額田・山本・吉澤夫妻（敬称略）

（高橋記）

園芸の会

世話人 當摩 照夫・彰子 TEL 396-3033



11月8日（木）に秋蒔き草花の苗の交換会を行いました。出席は久しぶりに参加の小亀夫妻を加えて、いつものメンバーが総勢12人。今年は特に9月が暑かったせいもあり、タネは蒔いたけど芽が出なかった、などの話もあり苦戦気味。しかし、さすがは藤澤リーダー。今回もパンジー、ビオラ、ストック、ロベリアなど20種321ポットを持ってきたいただき、皆、大歓声で分けてもらいました。また、當間さんが白菜、ブロッコリー、玉ねぎの苗を持参。この冬も新鮮な野菜も楽しめそうです。来春にはきれいな花をたくさん咲かせましょう。

次回は、来年1月25日（金）、14:30～16:30にいつもの東村山スポーツセンターで、さくらそうの芽とサギ草の球根の交換会を行います。皆様、ふるってご参加ください。

俳句同好会 (稲酔会)

世話人 井垣 和 太 TEL 04-2924-2934



当会連衆の小永井哲哉さんが、11月16日(金)夜に急逝されました。
 小永井哲哉さんは、平成20年8月から丸本北窓さんの誘いで東村山稲門会に入会と同時に「稲酔」俳句会に参加されました。
 早稲田大学在学中から俳句を嗜まれ、近年は奥様と一緒に国内、海外の旅行をされて、常に句帳を携えて各地での感動を五・七・五にまとめ、優れた俳句を我々にも披露してこられました。
 当会での活躍はわずかに4年余りと短い期間であり、突然のそれも永遠のお別れをする事は誠に残念な限りであります。

故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

森を出て露の重さの帽子脱ぐ
 泣けぬ瞳を冬海に向け漁夫の葬
 年詰まるはらりと落ちし正誤表

哲哉
 哲哉
 哲哉

第65回句会は12月22日(土)午後2時から「丸藤」2階で開催します。
 兼題は「年」です。年末、忘年会、年の市、行く年、年惜しむ、・・・・・・。

(稲雀 記)

パソコン同好会

世話人 小菅 宏 TEL 391-0219
福田 昇七 391-9726

12月8日(土)から、第2回「ワード勉強会」を開催します。内容はAクラス：インターネットの活用基礎、ワードの復習、メールの基礎です。Bクラス：表の作成、図形と描画、テキストボックス、ワードアート(絵文字)等です。両クラスとも6回コースで、第2土曜日のAM10:00~12:00、第4土曜日のPM1:00~3:00です。

また、「恥をかかないメールの作法」(仮称)も開講予定です。要望が強ければ、Bクラスの予定を一部変更して途中で割り込ませることも検討中です。(決定したら別途お知らせします。)

●追加募集：Aクラスのみ文字入力・マウス操作が出来る方2,3名を限度に追加募集しています。参加費用は6回で6,000円です。参加申し込み方法：氏名(フリガナ)、住所、電話番号、希望するコース、ワードのバージョン(2007か2010)を明記の上、小菅宛FAX(電話と同じ番号)、往復ハガキまたは電話でお申し込み下さい。先着順とさせていただきます。

パソコン相談会も12月の第4土曜日のPM3:00~4:00で行います。パソコンのお困りごとのご相談にご利用下さい。(詳細は世話人までご連絡ください。)

当面の日程は、同好会等 短期予定表でご確認下さい。変更される場合が有りますので最新版の東村山稲門会ニュースを参照下さい。

ゴルフ同好会

世話人 石川 武 TEL 394-4702

早稲田校友会ゴルフコンペの報告

紅松 喬 (S45商)



11月7日(水)に第4回早稲田大学校友会ゴルフコンペが久邇カントリークラブで開催されました。東村山稲門会から相馬さん、井垣さん、山本岩男さんと紅松の4人が参加しました。前日が雨でしたが当日は快晴無風の絶好のゴルフ日和、それぞれ違う稲門会の方々と一緒に回り懇親を深めました。プレー後は、瀬古利彦氏(元マラソン選手)のユーモアたっぷりの話の後、稲門会校友会長の挨拶、高麗大学校友会長の乾杯の音頭「ワー(歓声)セダ(No.1)」(韓国語)で表彰式が開始され、優勝は21名参加の杉並稲門会の方でした。

新ペリア方式で数多くの賞がありましたので、皆さん大いに期待して結果発表を聞きましたが、我が東村山稲門会からは相馬さん、井垣さんが飛び賞を獲得され無事終了しました。

参加手続きや練習ラウンドを調整して戴いたゴルフ同好会の石川さん、練習ラウンドにお付き合い戴いた滝来さんに御礼申し上げます。

早稲田スポーツを応援する会

世話人 大内 一男 TEL 393-6543

第3回早稲田スポーツを応援する会「雨でも早慶戦」 (10月28日)



東京六大学リーグは通常1週に2カード組まれるが、最終週の早慶戦のみ単独開催となっている。これは、東京六大学連盟が早慶戦を起源とすることに由来したものです。

ご承知のように閉会式は必ず早慶戦後に行われます。連盟に属する如何なる大学が優勝しても(今回は法政)優勝旗が渡されるのは早慶戦終了後になるのです。そのため連盟参加各大学は二戦目以降の閉会式に備え選手、監督を始め連盟役員、校旗更には各校から選抜されたマーチングバンド要員が神宮球場に待機しているのです。早慶戦が三戦目四戦目になっても続けて待機することになります。

そんな訳で最近のピンポイント天気予報の発達もあり簡単に試合を中止に出来ません。東村山では雨がそれなりに降っていた今回も朝方、神宮球場ホームページ、電話で確認しても中止とはなっていませんでした。

10時雨の降る中、家を出発し神宮球場に向かい確認するとやはり試合実施とのこと。試合前は小雨が舞、座席も濡れていましたが試合中は運良く雨も降らず早慶両校ややミスの多い内容の闘いでしたが6対3で早稲田が慶應を下し春の雪辱を果たし勝ち点を得ました。

観戦申込者6人の内2人が天候不良の為欠席となり淋しい応援となりましたが、出席者は暮れなずむ神宮球場のライトに浮かび上がるグラウンドで繰り広げられた、各校の応援歌校歌がアレンジされたマーチで始まる、雰囲気のある閉会セレモニーを堪能することが出来ました。

お決まりの懇親会はいつもの神宮球場至近の「惣八」を会場に学生応援席で応援をされていた遠来の遠州稲門会3名及び年次稲門会の女性副会長を交え計8人で、校友としての絆を深めると共に勝利を祝いました。

参加者：高橋・滝来(京)・町田・大内(敬称略)

第4回早稲田スポーツ応援する会「雨の早慶ラグビー」 (11月23日)



ラグビーの試合は余程荒れた天気でなければ、実施されます。ラグビー早慶戦の行われる11月23日(勤労感謝の日)は天気の良い特異日として認識されていたはずでしたが今年は降るはずの無い雨に見舞われ、野球の早慶戦と同様雨に祟られてしまいました。

チケット購入者15名(東村山稲門会11名、杉並稲門会3名、大田稲門会1名)のうち東村山の3名の方が欠席し12名の応援となりました。

この季節皆様、雨に濡れての応援はやはり寒さが堪えた見え、ポットに用意した「百年の孤独」のお湯割りはずこぶる好評でした。

89回目を迎えた伝統の早慶戦。先制した早大は一時逆転を許しましたが、SO小倉順平のドロップゴールで追いつき10-10で前半を終えました。後半は相手に攻め込まれる苦しい時間帯も続きましたが、3トライを追加して最後は31-10で試合終了。通算成績を63勝20敗6分けとし、関東大学対抗戦2位の可能性を残しました。

雨の中最後まで応援した、お互いの健闘を称えるため、秩父宮ラグビー場正門前のいつもの居酒屋「惣八」で杉並・大田稲門会の校友3名もご参加頂き「つわもの同志」10名で楽しい祝勝会を行いました。只、翌日が東村山稲門会定時総会の開催日のためやや控えめに！

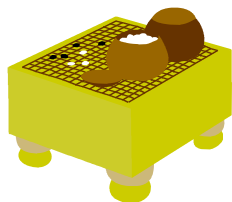
参加者：江藤・大内・小亀・小林(俊)・坂本・滝来夫妻・山本

杉並稲門会：石田・鈴木・野原 大田稲門会：佐藤(敬称略)

囲碁同好会

世話人 福田 晃 近 TEL 394-0593
高 鷲 近 394-2336

●12月の「例会」を下記の要領で開催します。今年最後の例会です。皆様のご参加をお待ちしております。



日 時 …… 平成24年12月15日(土)、午後1時開始
場 所 …… 市民センター別館

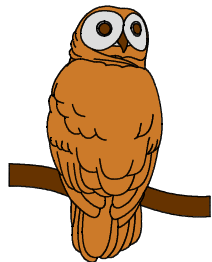
○小金井稲門会と東久留米稲門会の囲碁同好会から、親善の交流試合の申し込みがきております。東久留米は「オール早稲田囲碁大会」にも毎年2チーム出場している強豪です。以前は交流試合を何回か行っていました。小金井は囲碁部長さんが二段とのことで、こちらのほうが我々といひ試合をするのかも知れません。

いずれにしても、もう少しつめてから皆様にご報告・ご相談します。

(高鷲 記)

多摩湖ふくろう通信 TPP特集号 2012. 11. 2

戸田 志郎 (S43法)



日本はこれまでアメリカに強く依存しつつ、自動車や電気機器産業など一部の分野で強い国際競争力を発揮して、自由貿易体制の下で大幅な貿易黒字を稼ぎ出してきました。そのもとで全世界から食料を調達し、「豊かな食生活」を実現してきました。だが、一皮むくと、日本の経済構造はいびつで、脆弱さを有しています。その重要な表れが食料調達構造にみられ、他の先進諸国に比べて、極度に外国依存型の、安定性と安全性を欠いたものになっています。日本は急激に高度工業化と都市化を遂げた反面で、他の先進諸国に比べても異常なほどの低水準に食料自給率を一路転落させ、大量の農産物・食料が海路や空路でアメリカやアジアをはじめ全世界から遠隔輸送され、輸入されています。

そして、21世紀を展望すると、アジアをはじめとする地球人口の急増や所得水準の向上による食料需要の増大、他方、地球温暖化や砂漠化など農業生産条件の悪化や不安定化が予想されるもとで、食糧需給が今後不安定化し、逼迫する可能性も十分想定されます。そうした日本の食料安全保障の将来が懸念されるなかで、TPP問題を考える必要があります。

TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）は、例外品目なしに100%の貿易自由化を目指し、モノやサービスのほか政府調達や知的財産権など広範な分野を対象とした経済連携協定（EPA）の一種です。

TPP参加の影響について、農林水産省によると、TPPによって関税が撤廃された場合、農産物生産額が年間4兆1000億円減少し、供給熱量でみた食料自給率は現在の40%から14%へと急低下し、農業の多面的機能が失われることによる損失額は3兆7000億円にのぼり、さらに農業関連産業も含めたGDPが年間7兆9000億円減少、そのために、340万人の雇用が失われると試算しています。

一方、内閣府によると、TPP参加で2兆7000億円、GDP比0.54%上がると試算しています。この数字は、じつは「10年で」の数字なので、1年にすると2700億円、GDP比で0.054%—これは統計の誤差の範囲内の数字で一ほとんどプラスの意味がないことが判明しており、失うもののほうが大きいと言うことでしょうか。

TPP問題は、農業の問題という以上に国民生活の根幹に関わります。アメリカもロシアも、食料は100%自給するのがあたりまえ。それ以上に作って、世界に貢献するか、またはいかに世界をコントロールするか、食料は「戦略物資」ともなっています。

食料のほとんどを海外に依存するということは、いのちにかかわる食料をリスク（危険）にさらす、弱い、危うい国になるということです。フランスがアルジェリアを植民地支配するために、食糧を自給させなかったという歴史的教訓もあります。

日本は「農業鎖国」どころか、農産物の平均関税率は11.7%であり、世界でもっとも開かれた国であり、世界一の農産物輸入国であります。高関税で守っているのは、コメとか、わずかな品目（コメ77.8%、牛肉38.5%）だけです。農産物の1割にすぎません。

食料は、海外から買えばいいじゃないかという議論があります。1億3千万人も民にほんとうに安全な食料を大量に買い続けることは2008年の食糧危機の経験を踏まえれば困難であることは明確です。

TPPは全品目について即時または段階的に関税を撤廃することと関税撤廃の例外を認めていません。また、TPPを巡っては、農業の問題がクローズアップされていますが、農業だけでなく、金融や医療などのサービス、政府調達、知的財産あるいは人の移動なども対象にする包括的な協定です。

現在、九カ国参加しているTPPに、日本が参加していった場合には、TPP10カ国のGDPの9割を日米二カ国が占めることになります。実質的には米国と日本とのFTA（自由貿易協定）です。

米国がTPPに固執する理由は、財政赤字のために多額の財政出動が不可能となったオバマ大統領が、「2010～2014年の五年間で輸出を倍増させる」「とくに金融を含むサービス輸出は三倍化する」「そのことでアメリカの雇用を創出する」として、米国経済の建て直しを、競争力あるモノ分野（大量生産型の農産物・食料品、一部の超ハイテク工業製品、バイオ・ケミカル製品）と金融・投資・保険を含むサービス分野で、米国流の市場ルールを押し付け、輸出激増を達成するためです。

一方、日本政府と財界は、TPPへの参加によってインフラ分野での海外展開等を推進し、海外の成長力を日本の成長に取り込むことに期待しています。

TPPを農業だけの問題に矮小化する傾向がありますが、「社会的共通資本への挑戦」ともいわれ、「非関税障壁の撤廃（規制緩和）」により、食品の安全基準、国民皆保険制度崩壊、公共事業の国際入札範囲の拡大など、日本の産業構造、雇用、国民生活全体が激変するかもしれない重大な問題を含んでいます。

TPP問題を考えるにあたっては、TPP参加によって、誰が損害を被るのか、誰が利するのかを見極めることが重要であって、短兵急に結論を急ぐべきではないと考えます。

同好会等 短期予定表												
同好会・行事	12月					1月					世 話 人 (問合せ先)	
	日	曜	時 間	場 所	備 考	日	曜	時 間	場 所	備 考		
ウォーキングの会	—	—	—	—		27	日	*	*		高橋正	042-309-3407
テニス同好会	9	日	13:00～15:00	久米川コート4		20	日	9:00～11:00	運動公園A		田島	042-396-7676
	19	水	13:00～15:00	久米川コート4	予備日	27	日	9:00～11:00	運動公園A	予備日		
囲碁同好会	15	土	12:30～	市民センター別館		—	—	—	—		高鷺	042-394-2336
カラオケ同好会	8	土	19:10～	カラオケランドズー		12	土	19:10～	カラオケランドズー		内藤	042-393-5071
園芸の会	—	—	—	—		25	金	14:30～16:30	スポーツセンター		當摩	042-396-3033
麻雀同好会	23	日	13:00～	サロン園		—	—	—	—		小野	042-391-9523
音楽同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		市川	042-308-8181
俳句同好会	22	土	14:00～	「丸藤」2階		—	—	—	—		井垣	04-2924-2934
ゴルフ同好会	—	—	—	—		—	—	—	—		石川	042-394-4702
早稲田スポーツ応援の会	2	日	13:00	国立競技場	ラグビー	—	—	—	—		大内	042-393-6543
パソコン同好会	8	土	10:00～12:00	シルバー人材センター	勉強会	12	土	10:00～12:00	シルバー人材センター	勉強会	小菅	042-391-0219
	22	土	13:00～15:00	シルバー人材センター	勉強会	26	土	13:00～15:00	シルバー人材センター	勉強会		
	22	土	15:00～16:00	シルバー人材センター	相談会	26	土	15:00～16:00	シルバー人材センター	相談会		
雑学講座	15	土	15:00～17:30	サンパルネ	映画会	—	—	—	—		當間	042-391-6023
— : 対象月に開催予定無し * : ニュース編集時点で未定。詳細は世話人にお問合せ下さい。												

小永井哲哉さん急逝

当会会員小永井哲哉さんが11月16日心筋梗塞によりご逝去なされました。小永井さんは俳句同好会に所属し10月27日の句会にはお元気な姿を見せておられました。心からご冥福をお祈りいたします。

規定により生花並びに総長からの弔電を差し上げました。

小永井さんは「咸臨丸子孫の会」に入られており、稲門会ニュース平成22年11月号に「遣米使節目付小栗忠順の評価」というエッセーをお書き頂きました。

編集局だよ

○次号の原稿締め切りは12月23日（日）です。よろしく願いいたします。（中村）
fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳 壇

す速くも猫膝に乗る冬隣

煮え切らぬ思ひ冷やさむ初時雨

ストリートジャズを横切る千歳飴

雪吊の縄投げる声受ける声

初冬の霹靂哲哉の訃報来る

朝寒や皆こ走りに会釈だけ

冬の夜に哲哉の訃報息を呑む

積ん読の一冊燈火親しめり

神々の居ぬ間に急ぎ君は逝き

落葉搔き葉を頭から浴びる子等

立冬や厚着取り出す旅の宿

木枯らしの吹き抜け走る駅通り

先に去る非礼咎めん冬の通夜

懷石の小さきてんぷら冬ぬくし

逝く人の行く手にありや夕紅葉

残菊の香や急逝の人に飛べ

訃を報すメール届きぬ凍みる夜に

北塞ぐ遺影に旨寝進ぜむと

庭守りの役をはなれて沙羅黄葉

短冊に万葉の歌萩の寺

枯野ゆく哲哉句座まで帰り来よ

腰ベルト締めて我が身の冬構

出田 麦穂

菊田 一平

幸田 瑞雄

小亀 輝雄

高部 糸行

内藤 慎

丸本 北窓

八木 竜湖

山下 波雲

栗島 三郎

井垣 稻雀